

## 指針に基づく情報公開

労働安全衛生総合研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、下記の調査研究の対象となる方のお一人ずつへの説明が難しい場合、個別に同意を得る代わりに、研究の情報を公開することにより対象者のご理解を得て、情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、あなたの情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名（研究課題番号）	労災疾病臨床研究事業費補助金「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究」（１９０７０２－０１）
研究責任者（所属）	大久保利晃（独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所）
研究対象	東電福島第一原発緊急作業従事者（以下「対象者」という）： 平成 23 年 3 月 14 日から同年 12 月 16 日までに東電福島第一原発内において緊急作業等に従事した者。
研究期間	対象者の生涯にわたる調査。（当面の計画として 30 年間） 第 1 期：平成 26 年度～平成 31 年度 第 2 期：令和元年度～令和 5 年度 第 3 期：令和 6 年度～
研究の目的・意義	<p>東電福島第一原子力発電所の事故処理のため、平成 23 年 3 月 14 日から同年 12 月 16 日までの間、労働者の緊急作業時の放射線被ばく限度が、通常 5 年間通算 100mSv のところ、250mSv に引き上げられた。この間に約 2 万人が本緊急作業に従事し、そのうち 174 人が通常作業の 5 年間線量限度である 100mSv を超えた。しかし残りの大部分の被ばく線量は 100mSv 未満であったことから、信頼性の高い疫学調査により、低線量被ばくによるリスクの有無、およびその機序に関する新知見が得られると期待される。また、従来の放射線健康リスクの研究は、主として原爆被爆者から得られた知見であり、一時被ばくによるものであった。本研究で対象とする集団の被ばくは、主として低線量率の継続的被ばくによるものであり、この研究により線量・線量率効果に関する新知見が得られると期待される。その結果は、より精緻な放射線防護基準の設定に資する可能性がある。</p> <p>また本研究では、約 2 万人の緊急作業従事者の長期にわたる健康調査を継続するので、その結果は研究参加者の健康管理に役立つことが期待される。</p>
研究方法	本研究の開始にあたって、厚生労働省の東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システム登録情報の使用申請を行い、入手した対象者の個人情報

	<p>報は、セキュリティの高い労働安全衛生総合研究所の研究用データベースサーバにて保管管理する。</p> <p>そのうえで、全国の健診・医療機関の協力を得て、研究参加者の同意に基づいて、健康診断を実施するとともに疫学調査を行う。</p> <p>健康診断時には、質問紙調査や面接調査により、緊急作業時の放射線被ばくに関する作業歴と健康影響に間接的に作用する交絡因子の解明につとめるため、既往歴、家族歴、職業歴、医療被ばく歴、生活歴など、本人から直接情報入手する以外には獲得できない情報を収集する。</p> <p>本研究のために組織された研究班は、研究代表者の元でそれぞれ臨床調査、白内障調査、甲状腺がん調査、死因・がん罹患調査、線量再評価、統計解析班などに分かれて、個人を識別する情報と切り離されたデータにより、分担毎の専門的研究・解析行う。</p> <p>また、健診時に採取した血液・尿の検体試料は、同意に基づいて、将来の研究に資するために、超低温冷凍庫において長期保管される。</p>
利用する情報の項目	厚生労働省が保有する東電福島第一原発作業員の長期健康管理システム登録情報のうち、住所等連絡先に係る個人識別情報（個人番号、中央登録番号、氏名、生年月日、住所、電話番号、所属企業等）および、線量情報、生体影響情報、被ばく作業関連情報等
提供を受ける組織	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所の労働者放射線障害防止研究センター
研究組織	<p>大石 和佳（公益財団法人 放射線影響研究所）</p> <p>大神 明（産業医科大学産業生態科学研究所）</p> <p>小笹 晃太郎（京都府立医科大学）</p> <p>喜多村 紘子（産業医科大学）</p> <p>栗原 治（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構）</p> <p>佐々木 洋（金沢医科大学）</p> <p>数藤 由美子（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構）</p> <p>祖父江 友孝（大阪大学大学院医学系研究科）</p> <p>谷口 信行（自治医科大学）</p> <p>辻村憲雄（国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 放射線管理部）</p> <p><u>溝上哲也（独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所）</u></p> <p><u>胡 歆（独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所）</u></p> <p>江口 尚（産業医科大学 産業生態科学研究所）</p> <p>星 北斗（公益財団法人 星総合病院）</p> <p>真船浩介（産業医科大学 産業生態科学研究所）</p> <p>宮川 めぐみ（医療法人誠医会 宮川病院/国家公務員共済組合 連合会虎の門病院）</p> <p>百瀬 琢磨（国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 福島研究開発拠点）</p>

	吉永 信治（広島大学 原爆放射線医科学研究所）
個人情報の取り扱い	<p>本研究で得られたデータを健診機関や分担研究班に配布する場合は、デジタル証明書がインストールされた PC 上で扱います。</p> <p>電子情報については、施錠可能な部屋に設置された専用サーバに保存し、パスワードを設定し許可された者のみが操作します。情報は原則として研究期間（当面の計画として30年間）が終了するまで保存します。保管された情報は、安衛研で匿名化のデータ処理をしたうえで、安衛研のファイル送受信システムを通じて各分担研究班へ提供されますが、連結のための対応表は提供されず、安衛研で厳重に保管します。</p> <p>なお、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。</p>
研究に関する情報公開の方法	対象となる方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、両研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。
提供先以外の他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有（提供先機関： ） <input checked="" type="checkbox"/> 無
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 特任統括研究員 大久保 利晃（研究代表者）</li> </ul>
個人情報保護管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>総括保護管理者：独立行政法人労働者健康安全機構総務担当理事</li> <li>拠点個人情報保護管理者：独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所施設長</li> <li>個人情報管理者：労働安全衛生総合研究所（登戸地区：吉川 徹）</li> </ul>
問い合わせ先	<p>氏名：大久保利晃、石邊綾子、土永章代、東佳奈</p> <p>所属：独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  <u>労働者放射線障害防止研究センター</u></p> <p>住所：川崎市多摩区長尾 6－2 1－1</p> <p>電話：044-865-6111（代表） 内線 242</p>